

農泊

大井川が育む、日本茶と駿河湾の幸を味わう旅

活動の経緯

JA大井川では、「農業者の所得向上」を目指し、多様な取り組みを行う中で、農業者の多角経営の一つとして「農泊」を推進している。地域の魅力ある豊かな資源を活かし、都市等との交流を図るため、地域に必要な啓発・普及・受入れ体制を整備し、活力のある持続可能な地域づくりに寄与するため、大井川農泊推進協議会を設立した。

活動の概要

「農泊」を中心とした大井川地域のコンセプト・ブランド作り、食と農の体験プログラムの作成、教育旅行の誘致、安全管理研修会の実施。



インバウンドモニターの様子



農泊セミナーの様子

活動の成果、主な実績等

令和2年、農林水産省の農泊食文化海外発信地域「SAVOR JAPAN」に認定された。令和2年11月オープンした緑茶・農業・観光の体験型フードパーク「KADODE OOIGAWA」を拠点として、農泊地域への人流を作っている。

また、構成団体及び連携団体と連携し団体客を受け入れることができる農泊モデル地域の造成を図っている。今後は地域のブランディング・コンテンツのブラッシュアップ・安全管理の研修を行い、教育旅行などの提案・受入れ体制を整備する予定。